

下山地区データ	
人口	4,326人 (-109)
男性	2,161人 (-51)
女性	2,165人 (-58)
世帯数	1,679世帯 (-2)
9月1日現在 ()は前年同月比	

令和2年10月15日発行

農地をどう守る？ 農作業受委託システム

下山地域の農地を守っていくために必要な手段として「下山農作業受委託システム」をご存じですか？

下山地域営農協議会が平成31年4月より開始した取り組みで、耕作できなくなった農地（水田）を地域で登録された担い手の方が代わりに耕作し、耕作を委託した人は決められた料金を支払う仕組みです。

農地の適正管理は、農地所有者の責任ですが、自作が不可能になってきた所有者も増え

ています。農地の耕作を放棄するのではなく、「下山農作業受委託システム」を活用し、農地を健全な状態で守っていただきたいという思いから、この取り組みが生まれました。

このシステムを利用して2年目となる黒坂町の倉地恒夫くらちつねおさんは、一度地元を離れたUターンの方。両親が元気な時は、草刈などの農地管理作業を行うために通っていましたが、両親が亡くなったことをきっかけに、「生まれ育った家や農地を何とかしなければ」と地元へ戻ってきました。

「今更機械を買いそろえるのも何だし、頼める人も少なくなってるし…」

そこで、知り合いからこのシステムがあることを聞いた倉地さんは、すぐに作業を依頼することにしました。

収穫を終えた倉地さんに話を伺うと「誰かにお願いできる窓口があって本当に助かりました。この仕組みがないと困る人が増えてくるのでは？」

自作が不可能な人、今まで農作業を頼んでいた人に頼めなくなってしまった人が周りにいませんか？農地を守る取り組み「下山農作業受委託システム」を、ぜひご活用ください。



▲作業委託を受けた登録農家による稲刈りの様子



▲作業を委託した倉地さん



▲「助かったよ！」と作業後の様子

下山農作業受委託システムの受委託項目

- 1 耕起作業・代かき作業
- 2 田植え作業
- 3 稲刈り作業（乾燥・調整はJAライスセンター扱い）

■ 申込・問合せ JA あいち豊田 下山営農センター
電話 90-2036

作業受託者（オペレーター）
も随時募集中！！

しもやま支所だよりは豊田市ホームページからも見ることが出来ます。 <http://www.city.toyota.aichi.jp/>



編集・発行／豊田市役所下山支所／毎月15日発行／〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1/
TEL0565・90・2111/FAX0565・90・3344/E-mail shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp
地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を支所だよりに掲載しませんか！

新型コロナウイルスの影響？ 空き家問合せ増！見直される山村地域

今年度に入り、市の空き家情報バンクの空き家物件の問合せが急増しています。新型コロナウイルスの影響からか、自然が豊かで開放的な山村地域が見直されていることが原因だと思われます。(図1)

移住対策を行っている山村地域としては、移住者を受け入れる好機となっています。

しかし、現時点で下山地区で紹介できる空き家は4件しかありません。

定住促進を進める、里楽暮住しもやま会では、自治区と共働で移住者の受け皿となる、空き家物件の発掘や活用に結び付ける取り組みを進めています。



▲空き家等の活用を呼び掛ける
里楽暮住しもやま会川合会長

空き家をお持ちの方に対する地域や親せきの方からの積極的な声掛けが、空き家登録への大きなきっかけとなります。

地域ぐるみで空き家情報バンクへの登録を推進していきましょう。

空き家情報バンクとは

売却または賃貸が可能な空き家に関する情報を登録して、空き家の利用希望者に提供する仕組みです。空き家を有効活用し、定住促進や地域の活性化を図ります。

■今年度の空き家情報バンクホームページアクセス数：図1

※表中の数字：物件一覧ページ（上段は前年度）、下段が今年度

	下山	足助	旭	稲武	小原
4月	498	987	792	466	524
	1,230	1,931	1,192	715	1,608
5月	658	1,324	765	700	892
	1,573	1,810	1,678	757	2,361
6月	800	1,152	798	510	969
	1,602	2,187	1,631	1,030	2,412
7月	710	1,309	649	591	914
	1,232	2,057	1,449	1,209	1,749

▲ほとんどの山村地域でアクセス数が倍増！

■現在紹介できる空き家4件



No.下山9再（和合町）
賃貸：3万円/月
売買：500万円
利用：居住・店舗可



No.下山13（神殿町）
賃貸：2万円/月
売買：要相談
利用：居住のみ



No.下山16（田平沢町）
売買：要相談
利用：居住・店舗可



No.下山19（大沼町）
賃貸：7万円/月
利用：居住・店舗可

広がる空き家活用の可能性

今年度から空き家情報バンクの空き家活用内容の可能性を広げるため下記の改正が行われています。

詳しくは、問合せ先又はホームページへ



①空き家を店舗など事業用として活用が可能に！

空き家情報バンクは、これまで居住することが条件でしたが、**事業（店舗など）での利用も可能**となりました。

②空き家を活用して起業する方への支援！

◇関係機関による伴走支援

市、おいでん・さんそんセンター、豊田商工会議所などが起業や商品開発などのお手伝いをします。

◇豊田信用金庫による融資（限度額500万円）

原則無担保・無保証人で設備資金が借りられます。

◇豊田市による利子補給

豊田信用金庫融資の借り入れに係る利子を市が補助します。

③空き家改修費の補助対象を売買物件まで拡大！

改修費用を補助する「空き家再生事業補助金」の補助対象は、これまで賃貸物件に限られていましたが、**売買物件での利用も可能**となりました。

■問合せ 豊田市役所 地域支援課 電話 34-6629
または 下山支所 電話 90-2111

令和2年度 わくわく団体の活動紹介

- 団体名：大沼まちづくり部（塚本鳥屋地区）
- 事業名：ロウバイで大沼の四季を彩る景観づくり
- 代表者：松井和夫（大沼町）



▲代表の松井さん

限界集落の住民らがロウバイを植えて地域おこしをしている新聞記事を見た松井さんは、「大沼でも、出来るのでは！」とロウバイの魅力を探るべく、すぐに新聞記事の現地へ行き、現地の方の話を聞いたり、苗をもらったりしたそうです。



▲黄色く甘い香りを漂わせるロウバイ

今年度は、わくわく事業で購入した苗を団体メンバーと20本植樹し、草刈や剪定をしながら大切に育てていきます。今後は、もらった苗や購入した苗で植樹場所を延長し、「大沼の地域おこしの一つにしたい」と松井さんは語ってくれました。

開花までは4～5年かかりますが、冬には一面のロウバイが咲き、人を呼び寄せる新たな名所になっていることでしょう。



▲団体のメンバーがロウバイを植樹する様子

下中開校50年 同窓生が来秋、記念事業を計画



今年、下山中学校が開校50年目の節目を迎えました。そこで、同窓生らが実行委員会を立ち上げ、来年秋の開催を目指し「下山中学校開校50周年記念事業」を計画しています。

記念事業の内容は、記念式典（令和3年10月頃）をはじめ、記念講演（同年9月11日）や開校当時に植樹した桜を植え替える記念植樹、開校からのあゆみを綴った記念誌や記念品（DVD）の作成を計画しているそうです。

今後、卒業生をはじめ、地域住民の皆さんに向けて、記念事業の開催趣旨や協力をお願いの文書を各戸へ配布していくとのこと。愛着ある中学校の記念事業を、地域の皆さんで盛り上げていきましょう。



▲下山中学校（弓道場付近の川沿い）開校当時に植樹された桜の木々



▲野原集会所のサロン活動（もみじ会）で社会福祉協議会の包括支援員を招いた会の様子

活用してください! 地域の集会施設

みなさんは、地域にある集会施設を活用していますか？

下山地区内には34施設もの集会施設があります。（集会所31、自治区集会所3）

集会施設は、寄り合いなどの会議の場やサロン活動、趣味サークル等の場として活用されています。

例えば、サロン活動は、社会福祉協議会や民生委員さんを招いて、集まったみなさんとおしゃべりして過ごす茶話会さわかいが多いですが、最近では「エンディングノートを楽し

しく書いて見よう！」など新たな取り組みをするところが増えていきます。

集会施設は、基本的に各地域の皆さんが自由に使える施設です。よく「皆さんが集まれる場が無い」との声を聞きますが、みなさんもサロン活動等への参加や仲間を集めて地域の集会施設を有効活用してはいかがでしょうか。施設の利用については、各地区の組長さんへお問合せください。

「小獣用捕獲おり」を貸出します



ハクビシン等の小獣による農作物被害の防止・軽減のため、捕獲おりの貸出を随時行っています。

- 注意事項：貸出には、申請者の印鑑が必要

貸出期間は2か月以内（更新可です）。
捕獲する地域の有害鳥獣駆除依頼書が提出されていることが必要です。

- 問合せ 下山支所 電話90-2111 農政課 電話34-6640

下山支所 バス停移設・新設のお知らせ

おいでんバス・名鉄バスの「下山支所(上り)」がJAのATM向かい側へ移設します。

それに伴い、しもやまバスの「下山支所バス停」を新設しました。

おいでんバス・名鉄バスへの乗り継ぎが便利になり、雨の日には屋根の下で濡れずに待つことができますので、ぜひご利用ください。

しもやまバスで下山支所や交流館へお越しの方は、既存のバス停「下山交流館」をご利用ください。



▲屋根のある場所へ既存のバス停を移設し、しもやまバスのバス停が新設されることで、乗り継ぎが便利に！

◀移設するバス停

「とよた三河高原アドベンチャー 2020 autumn」開催決定!

今年も「熱気球係留体験」「SUP」「エアカヌー」などのアクティビティ体験をお楽しみいただける「とよた三河高原アドベンチャー」が開催されます！普段はなかなかできないような貴重なアクティビティ体験をご家族やお友達を誘って遊びに来ませんか！

- と き 11月1日(日)から11月29日(日)まで

- 申 込 ホームページをご覧ください

- 問合せ 香恋の里しもやま観光協会 電話 90-2530



ホームページ



▲昨年のイベントの様子

架空料金請求詐欺 ハガキから封書へ ご注意!

架空料金請求詐欺の最近の手口として、はがき型の詐欺手口が警戒されるようになったため、信ぴょう性を高める文言を記載した封書型に手口を変えてきています。見覚えのない封書等が届いたら、迷わず足助警察署へご相談ください。 ■問合せ 足助警察署 電話62-0110



秋季全国火災予防運動 ～11月9日から15日までの7日間～

秋は空気が乾燥し、火災になりやすい時季です。期間中、車両による防火広報を実施します。住民のみなさんも防火の意識を高め、大切な命と財産を守りましょう。

- 問合せ 足助消防署 電話62-0119



下山交流館 まなびのひろば

豊田市下山交流館

開館時間：午前9時～午後9時

(図書の貸出・返却は午後8時まで)

休館日：月曜日(祝日、振替休日を除く)・年末年始

連絡先：TEL0565-91-1650/FAX0565-91-1030

ホームページ：<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

指定管理者：公益財団法人豊田市文化振興財団



事業案内

くらふとサロン Vol.2②

リボンバッグを作ろう!

【日時】11月24日(火)
10時～正午

【対象/定員】どなたでも / 8人

【材料費】1,500円

【申込み】10月28日(水)9:30～

【講師】宮崎エリカ氏(花沢町在住)



交流館に見本があります!

リボンを作り、既製のトートバッグに貼りつけ、大人かわいいリボンバッグ作り!



音楽と冬の星空 in しもやま

【日時/場所】12月6日(日)まどいの丘

第1部 16時～ 第2部 17時45分～

【対象/定員】どなたでも / 各50人

【申込み】10月20日(火)9:30～



第1部 高橋医院の高橋亮太郎氏による、チェロ演奏を中心としたグループ『トリオ高橋』のコンサートです。

第2部 豊田天文クラブのみなさんと、星座のお話&星空観察会!

事業報告

くらふとサロン Vol.1 き 木ホルダーを作ろう!

9月12日(土) 参加者 15人

<参加者の感想>

- ・楽しくて時間がすぐに過ぎてしまいました。
- ・記念になる作品が出来、楽しかった。
- ・実施指導がわかりやすかったです。



<事業について>

- ・参加時の体調チェック、マスク着用、手指消毒、3密回避にご協力をお願いします。
- ・新型コロナウイルスの影響で、中止や変更になる場合があります。

★事業の詳細は、交流館HPまたはチラシをご覧ください。



下山交流館
ホームページ
QRコード

お知らせ

リサイクル図書配布開始!

10月15日(木) ▶ 11月15日(日)

場所 下山交流館 1階廊下
時間 9:00～20:00

★マイバッグ持参をお願いします。

・絵本、紙芝居、児童書、小説、実用書、雑誌など、図書館で使われなくなった本を配布中!



花壇ボランティアさん募集中!

🌸 下山支所入り口正面の花壇です。

🌸 作業内容は、花選び、植え付け、肥料やり、草取りです。

きれいに咲きました!

花好き仲間と楽しく作業!!都合のいい時間・少しの時間でOKです。



疫病退散に感謝して

須賀神社の三番叟の舞

絵と文がかわらぬころ



トーン トーン トーン トーン トーン。阿蔵須賀神社の秋祭り
拍子木が鳴って、三番叟の舞が奉納される。若者が三人、舞台の上
がって飛んで跳ねる。トーン トーン トーン トーン トーン 拍子木が響き
キーン トーン トーン トーン トーン トーン 足を交互に踏み鳴らし、
跳ね上げて舞う。昔は一人だけで舞ったが、二人となり今は三人だ。
舞い方もだんだんぎやかになくなった。毎年、毎年一回も休むこと
なく、もう100年を越えて舞い続けられているのだよ。

古い書物によれば、そこから百年余り前というから、天保の大飢饉
の頃、疫病が下山中で大流行したところの頃、阿蔵でも幾人もの
病にかかり、どうしていいか分からぬ時に、皆で須賀神社に集ま
って、病が流行るのを防いで下すれば、お祭りに三番叟を奉納し
ますと、願をかけて祈ったそうだ。するとしばらくして、病の流行が
止まると、その秋の大祭から毎年、毎年、凶作でも戦争があっても
一回も休まずに三番叟を奉納してきたのだよ。

昔はありがたいご利益を願って、須賀神社への舞の奉納が絶えぬ
と次々に皆がこづけを渡して、火防に秋葉様へ奉納してくれ、等
々との神社への奉納や、家内安全や等個人の願いの奉納がござい
る。頼まれ舞う人はくたくたにならねえ。

今年、須賀神社は新しい流行り病で三番叟の奉納が出来ないのだが
病が退散するまでに厚い祈りが上がると思います。

